

議案第九号

港区立郷土歴史館特別展示室の観覧料について

令和八年二月二十六日

令和8年2月26日  
教育委員会議案資料 No. 2

港区教育委員会

## 港区立郷土歴史館特別展示室の観覧料について

### 審議内容

港区立郷土歴史館特別展示室で開催する企画展「歴史館コレクションーおもちゃ絵ー」の観覧料について、港区立郷土歴史館条例第六条別表の規定に基づき定めます。

## 1 企画展名称等

### (1) 名称

「歴史館コレクションーおもちゃ絵ー」

### (2) 開催期間

令和8年4月25日（土）から令和8年6月28日（日）まで

### (3) 内容

浮世絵の一種である「おもちゃ絵」は、子ども向けの手遊びのために描かれた作品です。

「おもちゃ絵」の多くは、画面を眺めるだけでなく、実際に手に取って遊ぶことも想定して作られており、遊びながら親しまれてきました。

本展では、主に江戸時代から明治時代にかけて制作されたにぎやかな「おもちゃ絵」を通して、その魅力を紹介します。

## 2 観覧料

企画展のみ観覧する場合　：大人　200円　小中高校生　100円

常設展と同時に購入した場合：大人　400円　小中高校生　100円

※ 区内在住、在学の小中高校生、区内在住 65 歳以上の方、障害者の方及びその介助者の観覧料は免除となります。また、学齢未満は無料となります。

※ 団体料金は、港区立郷土歴史館条例別表の規定により、10 分の 8 となります。

参 考

●観覧料一覧

	大人		小中高校生	
	一般	団体	一般	団体
常設展	300円	240円	100円	80円
企画展	200円	160円	100円	80円
常設展と企画展を同時に購入した場合のセット券	400円	320円	100円	80円

●企画展の経費と観覧料について

費 目	金 額
展示造作費	430,000円
印刷費・広告費	390,000円
アテンダント人件費	174,000円
清掃費・光熱水費	132,440円
合計 (A)	1,126,440円
1日当たり予定利用者数 (B)	60人
開催日数 (C)	63日
延べ予定利用者数 (B) × (C) = (D)	3,780人
(A) ÷ (D)	298円

※ 企画展の観覧料については、算出した一人当たりの額に百円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額としています。



令和8年度  
企画展

歴史館コレクション

# おもちゃ絵

令和8(2026)年

4月25日(土) ▶ 6月28日(日)

MINATO  
CITY  
LOCAL  
HISTORY  
MUSEUM

港区立郷土歴史館

〒108-0071 東京都港区白金台 4-6-2 ゆかしの社内

電話 03-6450-2107

minato-rekishi.com

令和8年度郷土歴史館特別展・企画展展示予定

展 示 名 称	開 催 期 間	展 示 内 容
〈企画展〉 歴史館コレクション -おもちゃ絵-	令和8年4月25日(土) ~6月28日(日)	<p>浮世絵の一種である「おもちゃ絵」は、子ども向けの手遊びのために描かれた作品です。「おもちゃ絵」の多くは、画面を眺めるだけでなく、実際に手に取って遊ぶことも想定して作られ、遊びながら親しまれています。</p> <p>本展では、主に江戸時代から明治時代にかけて制作された、にぎやかな「おもちゃ絵」を通して、その魅力を紹介します。</p>
〈夏休み企画展〉 江戸のお仕事	7月18日(土)~ 9月23日(水・祝)	<p>江戸時代の港区域には、海に面した東海道沿いという流通の利便性を生かした仕事をはじめ、さまざまな仕事をする人びとが暮らしていました。</p> <p>本展では、江戸の暮らしを支えた庶民の仕事にかかわる館蔵資料を通して、子どもにもわかりやすく江戸時代の仕事について紹介し、江戸時代の港区域の様子を探ります。</p>
〈特別展〉 暮らしの洋風化 ~港区と近代建築~	10月24日(土)~ 12月20日(日)	<p>日本の建築は、明治~昭和にかけて西洋から大きな影響を受け変容を遂げました。</p> <p>官公庁などのオフィス建築や、駅、学校や図書館といった公共建築など、徐々に人々の生活に西洋の文化が浸透しました。この変容と受容を建築作品の図面や写真、家具類の展示を通して紹介します。</p>
〈企画展〉 未来に伝えよう！みなと遺産 ・新指定文化財展 ・発掘調査速報展 ・昔の暮らし展	令和9年1月16日(土) ~3月14日(日)	<p>未来に伝えていきたい、港区の歴史を物語る資料を3つの展示を通して紹介します。指定文化財展では地域の文化財とその保存・保護について理解を深めるため、令和8年度に新たに指定される文化財を紹介します。</p> <p>また、発掘調査速報展では発掘調査の成果を展示し、昔の暮らし展では生活に関わる道具の移り変わりをわかりやすく紹介します。</p>

令和7年度郷土歴史館特別展・企画展展示実績

展 示 名 称	開 催 期 間	展 示 内 容	観覧人数
〈企画展〉 歴史館コレクション －ひびきあう美術－	令和7年4月19日 (土)～6月15日 (日)	郷土歴史館では、港区の歴史や文化に関わる資料を収集しています。 今回の企画展では館蔵品の中から、港区で活躍した芸術家の作品や港区を題材とした作品、港区ゆかりの方々から寄贈された作品など、選りすぐりの美術工芸品を紹介しました。 明治期にイタリアで活動した女性画家の洋画、岡本太郎の両親の作品、重要無形文化財保持者による工芸品など、郷土歴史館にもたらされた経緯をひもとくと、郷土歴史館ならではの物語が見えてきました。	3,228人
〈夏休み企画展〉 港区平和都市宣言40周年記念 終戦80年戦争を見つめなおそう	7月5日(土)～ 9月30日(火)	太平洋戦争が終わった昭和20年8月15日から、今年で80年の月日が経ちました。国民の多くが戦争を知らない世代となり、当時の生活や戦争で大切な人を失う悲しみは、伝聞と残された資料から知るしかありません。 本展では、戦時下の暮らしや戦後復興について郷土歴史館で所蔵する資料を中心に子どもにもわかりやすく紹介しました。	4,653人
〈特別展〉 暮らしの中のお菓子展	10月18日(土)～ 12月14日(日)	菓子は、味も形も多種多様なものがあり、子どもから大人まで多くの人々に親しまれています。 本展では、日本における菓子のはじまりから近現代にいたるまでの移り変わりを見ていくとともに、人びとの暮らしと菓子の関わりについて紹介しました。	12,477人
〈企画展〉 未来に伝えよう！みなと遺産 ・新指定文化財展 ・昔の暮らし展 ・発掘調査速報展	令和8年1月10日 (土)～3月8日 (日)	港区には、地域の歴史や文化を伝える多くの文化財が残されています。 本展では、地域の文化財とその保存・保護についての理解と関心を深めるため、令和7年10月に新たに指定した港区指定文化財をはじめ、昭和期を中心に衣類に関する道具及び近年行われた発掘調査で出土した遺物をそれぞれ、展示又はパネルにより紹介しました。	1,062人 (令和8年 1月31日現在)